

NETIS登録番号	技術名称	カクイオイルキャッチャー			
Qs-090037-A	副題				
分類1				キーワード: 環境、コスト縮減・生産性の向上	
分類2					
開発目標					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 2055538号、4366411号) <input type="checkbox"/> なし				
技術賞、審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	カクイ株式会社		TEL	099-254-2349
	住所	鹿児島県鹿児島市唐湊4-16-1		E-MAIL	kakui@kakui.co.jp
	担当者	新素材ユニット 川平 敏朗、研究開発 黒木 修			
実績件数	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
H26.8.7現在	3件	件		件	

技術概要: (300字以内)

河川および港湾等における油流出事故の際の初期対応として、水面に浮遊する油を迅速確実に吸着するための製品です。従来の化学繊維系の吸着材と異なり、植物系中空繊維主体の油吸着材です。水をほとんど吸わず油だけ吸います。自重の30倍以上の吸着力を有し、水に沈みません。

①どこに新規性があるのか?

地球環境保全を配慮し、従来の化学繊維ではなく天然繊維を使用している。

単位重量あたりの油吸着量が従来品の約3倍である。

吸着後の油のしたたり落ちがほとんどない。

4種類の油吸着材を1セットにした、緊急用油液処理キットは河川だけでなく工場、構内など小規模の漏油に素早く対応可能である。



②期待される効果は?(新技术活用のメリットは?)

吸着力に優れているため、回収時間の短縮を図ることができる。

回収後の油漏れがほとんどなく、二次災害の発生を防ぐことができる。

焼却時の熱エネルギー発生量が化繊の約半分、二酸化炭素排出量は約1/3である。

油吸着量が化繊製品の約3倍である。

油の保持力が化繊製品の3倍であり、二次汚染の恐れがない。

発生ゴミ量が化繊製品の3分の1である。カクイオイルキャッチャー

適用条件

①自然条件

極度の寒冷地以外の河川および海洋における油流出事故に対応可能です。

②現場条件

人力作業の可能なスペースを確保する。必要に応じて備蓄をしてください。

③技術提供可能地域

全国どこでも提供可能です。

④関係法令等

特になし

適用範囲

①適用可能な範囲

0°C~120°Cまで、油の種類により異なる。道路、河川、海上で使用可能。

重油、軽油、灯油、植物油等

有機溶剤も吸着可能です。

②特に効果の高い適用範囲

河川、海上の浮上油

全く流れがない~緩やかな流れであること

